

In brief

The latest news in financial reporting

pwc

No. US2015-33
November 12, 2015

要点

FASB が新しいリース会計基準の発効日を決定しました。発効日についてはほぼ同じである一方で、FASB と IASB は、早期適用の規定については異なる決定をしています。

FASBがリース基準案の発効日を最終化

最新の動向

11月11日、米国財務会計基準審議会 (FASB) は、新しいリース基準案の発効日に関する審議を行いました。来年初めに公表予定の本リース基準は、12月決算の公開企業には2018年12月15日より後に開始する事業年度から適用となる予定です。早期適用も認められます。

既に、国際会計基準審議会 (IASB) が2019年1月1日を発効日とすることを決定していますが、FASBとは異なり、IASBは早期適用に条件を付しています。

公開企業

公開企業は、2018年12月15日より後に開始する事業年度および当該事業年度に属する期中報告期間に適用を要求されることになる予定です。これは、12月決算の公開企業にとって、適用日が2019年1月1日となり、それ以前に公表した2018年度ならびに2017年度の財務諸表および期中財務諸表への遡及適用となることを意味します。

非公開企業

非公開企業は、2019年12月15日より後に開始する事業年度および2020年12月15日より後に開始する事業年度に属する期中報告期間に適用を要求されることになる予定です。これは、12月決算の非公開企業にとって、適用日が2020年1月1日となり、それ以前に公表した2019年度および2018年度の財務諸表への遡及適用となることを意味します。

早期適用

FASBは、新しいリース基準の公表後の即時の適用を認める決定を下しました。IASBも早期適用を認める予定ですが、新しい収益基準との同時適用であるか、その適用後であることをその条件としています。

なぜ重要か

規模の大きいリース・ポートフォリオを有する借手は、貸借対照表上の資産および負債が大幅に増加する可能性が高くなります。しかし、損益計算書における分類に関する二元モデルによって、本変更案が損益計算書およびキャッシュ・フロー計算書に与える影響が抑えられることが見込まれています。どの契約にリースが含まれているかの識別には判断が必要となり、必ずしも単純な判断とはならない可能性があります。不動産に関するセール・アンド・リースバック取引の会計処理は簡素化する予定である一方で、その他の場合には、より複雑かつ時間のかかるものとなるかもしれません。

財務報告上の影響を超えて、この新しいガイダンスによりリースシステムと関連する統制の変更が必要となる可能性が高くなります。発効日および過年度への遡及適用の必要性を踏まえると、借手は、効率的な移行にとって非常に重要な、既存のリース契約に関して必要な情報の収集および新しいリース契約に関するデータの把握能力を重視する必要があります。場合によっては、新しいシステム、統制、プロセスが必要となる可能性があり、これらの獲得または開発、導入、そしてテストのためにはさらに時間がかかります。

2016年初めの基準公表予定であることから、企業には、この新しいガイダンスに基づく財務報告の開始まで3年間しかありません。潜在的な影響の検討が未実施の企業においては、特に、過去に公表済みの財務諸表に対する遡及適用に関する要求事項を考慮しながら、本基準の潜在的な影響を深く検討することを望むでしょう。適用スケジュールは、早期適用を計画する企業にとってはさらに短くなります。発効日に関する不確実性が解消したため、財務諸表作成者は、秩序だった円滑な移行計画の作成を開始することが可能となりました。

次のステップ

FASBは、スタッフに対して最終基準の起草を進めるように指示しました。最終基準の公表は来年初めとなる見込みです。

© 2015 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.